

越前和紙による私家本と孔版画展

孔版画の

逸品

絵 ■ 助田茂蔵

すけだ しげぞう

- 1915 鯖江市に生まれる
- 1971 謄写印刷所を営む傍ら、草花を描きはじめ
それをもとに孔版画による作品制作を始める。
- 1982 巻物「越の花三百六十五日」全6巻完成
- 1983 第一回『野の花文化賞』受賞
- 2000 「鯖江草木譜」で『鯖江市社会教育功労賞』受賞
※NHK教育TV・NHKラジオ深夜便等に出演
※画集、句集、私家本など多数発行
挿絵・装丁・印刷・製本等も手掛けた
- 2008 逝去(享年93才)
- 2012 福井市・鯖江市で特別展開催

孔版 ■ 助田篤郎

すけだ あつお

- 1954 茂蔵の次男として生まれる
- 1974 インドへ放浪の旅に出る
- 1975 帰国後、兄 憲亮の工房にてシルクスクリーンを習得
- 1980 父茂蔵を手伝いながら共に「野の花孔版画」を完成
- 2012 福井市・鯖江市で特別展開催
※孔版画制作を続ける他にも謄写版印刷を中心に
私家本・句集・歌集・自分史などを手掛け、その
技術は高く評価されている

版画の技法には大きく分けて、凸版、凹版、平版、孔版の4種類があり、孔版には謄写版、シルクスクリーンなどがある。「孔」は「空いた穴」という意味で、和紙(雁皮)や絹などを版材にして、版の孔からインクや絵の具を押し出して版画をつくる。画用紙には越前和紙も使われており、その代表的なものに、沖桂司氏(故人)の漉いた「MO紙」がある。

今回の展示会では、花を題材にした作風とともに、その繊細で緻密な表現力や、高度な孔版印刷の技術を味わって頂きたい。

2018年

6月13日(水) - 7月16日(祝・月)

9:30 - 17:00 火曜日休館 大人200円(高校生以下無料)

紙漉き実演は16:00まで

紙の文化博物館との共通入館料

入館は16:30まで

[会場] 越前和紙の里 卯立の工芸館

越前市新在家町9-21-2 Tel.0778-43-7800

<http://www.echizenwashi.jp>

